

R 1 年度実績以降

第 3 次芦屋市環境計画実績及び自己評価報告書

(案)

III 事業・取組の詳細（R1年度実績）

施策の方向	施策(取組)	Plan		Do		Check				Action		目標値・方向性(R6)	①-1 担当課の評価	
		事業・取組名	担当課	29年度実績	30年度実績 (取組や補助の内容・成果)	①事業・取組 の難易度	②事業の 進捗度	合計点 (①×②)	評価	事業の 継続有無	R1年度の予定		実施ごとの 平均値	施策ごとの 評価
生きものの生息環境を知り、守る	地域の生きものの種類や数を調べ、知らせる	環境に関する冊子等の作成及び配布・販売	環境課	環境づくり推進会議主催で、環境団体・市民の関わりをを広げるための環境団体の発表やパネル展示、芦屋の自然に詳しい古市先生のご講演、「子ども環境作文コンクール」の表彰式などを行った。	いもり谷・いもり池の自然に関する冊子を作成した。また、市内の小学校の3年生・4年生に対して冊子を配布し、環境学習の補助教材として提供した。また冊子のデータをホームページで公表した。	1	5	5	◎	継続	市内の生きものについての冊子を作成するとともに、市内の植物についての調査を実施する。	5	◎	
	いろいろな主体による観察会や講座を実施する	芦屋川カレッジや公民館講座における環境に関する講義・講座の実施	公民館	芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施した。(回数:4回、受講者数:87人)	芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施した。(回数:4回、受講者数:87人)	1	5	5	◎	継続	今年度も継続して、芦屋川カレッジにて、自然環境や環境問題・エネルギーをテーマとした講義を実施する。	受講者数の増加	5	◎
		芦屋川のホタルの観察会の実施	環境課	芦屋川に魚を増やそう会と共催実施	芦屋川に魚を増やそう会と共催実施	1	5	5	◎	継続	引き続き取組みを行う。	参加者数の増加		
		星空観察会の実施	環境課	夏冬の実施(各1回 参加者数のべ55人)	夏は台風接近のため中止となった。冬の星空観察会を実施(参加者数 50人)	1	5	5	◎	継続	引き続き取組みを行う。	参加者数の増加		
		アシレンジャーに協力し、芦屋川・宮川での生き物観察会の実施	環境課	アシレンジャー主催の観察会に共催(2回)	アシレンジャー主催の観察会に共催(2回)	1	5	5	◎	継続	引き続き取組みを行う。	参加者数の増加		
		環境づくり推進会議を主体として観察会等の実施	環境課		環境フェスタとして、市内の環境団体さんによる自然素材を使ったワークショップの開催、化石の展示や芦屋の生き物に関する講演等のイベントを実施した。	1	5	5	◎	継続	令和2年2月22日に第2回環境フェスタを開催予定。	参加者数の増加		
	外来生物の流入・増殖、在来種の乱獲を防ぐ	外来種の流入や在来種の保護について、市民の理解と協力を促すよう啓発を実施	環境課	H29.6の環境特集号にて啓発。H29.6.3のホタルの観察会にて啓発チラシを配布。	秋まつりでの啓発を予定していたが、台風接近のため中止となった。県との共催で実施した。「森の子育て広場」においてアカミミガメなどの外来種について、総合公園のピオトープの生き物観察会とおして啓発をした。	1	5	5	◎	継続	引き続き取組みを行う。	現状維持	5	◎
	山の緑の豊かさを維持するため、自然植生を守る	財産区における松くい虫の防除	用地管財課	ナラ枯れ樹木に対する病虫害防除(46本)	松くい虫被害等景観対策事業(5本)その他森林病虫害等防除事業(34本)	1	5	5	◎	継続	ナラ枯れ等、森林病虫害防除の実施	現状維持	5	◎
		市内樹木の松くい虫防除に係る補助事業	地域経済振興課	市内樹木において発生した松くい虫被害木の伐採に係る補助事業を実施した。(件数:6本 本数:22本材積:26.556m ³)	市内樹木において発生した松くい虫被害木の伐採に係る補助事業を実施した。(件数:3本 本数:14本材積:13.872m ³)	1	5	5	◎	継続	市内の松くい虫被害は減少傾向であるが、被害拡大を防ぐため引き続き事業を実施していく。	現状維持		
	自然とふれあえる場を守り、さらに充実させる	山の緑に親しめる場の維持管理、守るための啓発を行う	あしや山まつりの開催	地域経済振興課	H29.5.14実施 参加者700人	当日、台風及び豪雨のため中止	1	5	5	◎	継続	令和1.5.12実施 参加者700人	登山参加者の増加	5
水辺の魅力を守り、良好な環境を創出する		芦屋川及び宮川沿いの清掃	下水道課	①芦屋川、宮川及び芦屋浜の定期清掃を実施した。(実施回数:94回) ②芦屋川、宮川の除草を実施した。(実施場所及び回数:夏季は高水域、冬季は高低水域で各1回)	①芦屋川、宮川及び芦屋浜の定期清掃を実施した。(実施回数:94回) ②芦屋川、宮川の除草を実施した。(実施場所及び回数:夏季は高水域、冬季は高低水域で各1回)	1	5	5	◎	継続	現状を維持し、川の景観を守ることを努力する。	5	◎	
		仲ノ池の維持管理	道路・公園課			1	5	5	◎					
身近な緑や社寺林などのまとまった緑を守る		保護樹林の指定	都市計画課	保護樹林を3箇所指定(累計、当該年度は新たな指定はない)、伐採等を行う際は、届け出を行うことにより、保護を行っている。	保護樹林を3箇所指定(累計、当該年度は新たな指定はない)、伐採等を行う際は、届け出を行うことにより、保護を行っている。	1	5	5	◎	継続	例年通り業務を遂行する	5	◎	
ピオトープの適正な維持管理・市民農園の運営管理を行う		ピオトープ池の設置管理	道路・公園課	公園内に設置したピオトープの維持管理。(設置公園:総合公園、大樹公園、清水公園内、前田公園)	公園内に設置したピオトープの維持管理。(設置公園:総合公園、大樹公園、清水公園内、前田公園)	1	5	5	◎	継続	例年通りの維持管理を実施予定。	5	◎	
	農地の保全に関する事業	地域経済振興課	岩園第2市民農園(35区画)六麓荘市民農園(31区画)	岩園第2市民農園(35区画)六麓荘市民農園(31区画)	1	5	5	◎	継続	岩園第2市民農園(35区画)六麓荘市民農園(31区画)				

1.5	実施難易度が高い
1.2	実施難易度はやや高い
1	実施難易度はふつう
0.8	実施難易度はやや低い
0.5	実施難易度が低い

5	目標値・方向性に対して十分に効果があった
4	目標値・方向性に対してやや効果があった
3	目標値・方向性に対して現状維持となった
2	目標値・方向性に対してあまり効果がなかった
1	目標値・方向性に対して効果がなかった

◎	4以上
○	2以上4未満
▲	2未満

III 事業・取組の詳細（R1年度実績）

施策の方向	施策(取組)	Plan		Do		Check				Action		目標値・方向性(R6)	①-1 担当課の評価	
		事業・取組名	担当課	29年度実績	30年度実績(取組や補助の内容・成果)	①事業・取組の難易度	②事業の進捗度	合計点(①+②)	評価	事業の継続有無	R1年度の予定		施策ごとの平均値	施策ごとの評価
健康な生活に関わる環境について知る	大気質、騒音・振動、交通量など定期的な環境測定・調査と公表を行う	常時大気汚染監視測定	環境課	昨年度同様リアルタイム監視中	昨年度同様リアルタイム監視中	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。	7	◎	
		環境測定車による測定	環境課	市内7箇所で大気質及び騒音・振動を測定し、同時期に交通量調査も行った。	市内7箇所で大気質及び騒音・振動を測定し、同時期に交通量調査も行った。	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。			
		芦屋浜における騒音測定	環境課	4箇所×4回測定	4箇所×4回測定	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。			
		その他、各種測定	環境課	アスベスト、窒素酸化物、酸性雨、有害大気汚染物質等を測定。	アスベスト、窒素酸化物、酸性雨、有害大気汚染物質等を測定。	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。			
		各種測定結果をまとめた「芦屋市の環境」の発行	環境課	各種測定結果をまとめた冊子を発行した(HPIにも掲載)。	各種測定結果をまとめた冊子を発行した(HPIにも掲載)。	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。			
	新たな環境問題に関する情報を収集・発信する	常時大気汚染監視測定局におけるPM2.5の測定	環境課	PM2.5(微小粒子状物質)市内2カ所で常時監視(測定場所:打出自排局、朝日ヶ丘小学校)。	PM2.5(微小粒子状物質)市内2カ所で常時監視(測定場所:打出自排局、朝日ヶ丘小学校)。	3	4	7	◎	継続	引き続き監視測定等を実施する。	7	◎	
きれいな水と空気を守る	自動車による公害を減らす	事業者が低公害車を導入する際の補助	環境課	1件の補助を実施。	1件の補助を実施。	3	4	7	◎	継続	引き続き継続して業務を実施する。	7	◎	
		ノーマイカーデーの推進	環境課	広報紙、庁内放送での啓発	広報紙、庁内放送での啓発	3	4	7	◎	継続	引き続き継続して業務を実施する。			
		国道43号線・阪神高速道路公害対策	環境課	国道43号及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)合同で環境省、近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速線へ環境改善の要望を行った。また、環境省の委託をうけて、低周波音・振動の調査を実施し、同時に心的影響と物的影響のアンケート調査を実施した。	国道43号及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)合同で環境省、近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速線へ環境改善の要望を行った。また、環境省の委託をうけて、低周波音・振動の調査を実施した。	3	4	7	◎	継続	引き続き継続して業務を実施する。			
	公共水域の水質を守る	特定事業所の水質検査	下水道課	クリーニング店等の特定事業所への水質調査を実施した。(件数:10件)	クリーニング店等の特定事業所への水質調査を実施した。(件数:10件)	3	4	7	◎	継続	特定事業所の水質検査現状を維持し、良い水質を保てるように努める。	7	◎	
		下水の処理	下水処理場	芦屋処理区及び南芦屋浜処理区で発生した汚水を処理し放流した。(合計:16,724千m ³ 芦屋下水処理場:15,960千m ³ 南芦屋浜下水処理場:764千m ³)	芦屋処理区及び南芦屋浜処理区で発生した汚水を処理し放流した。(合計:16,689千m ³ 芦屋下水処理場:15,853千m ³ 南芦屋浜下水処理場:836千m ³)	3	4	7	◎	継続	処理水量については天候に左右されるが、効率的な施設運営を行う。			
	有害物質の飛散防止など、法令や規制を遵守する	特定工作物解体等実施届出書の経由	環境課 建築指導課	アスベスト飛散の可能性のある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図った。(受理件数 環境課 5件 建築指導課54件)	アスベスト飛散の可能性のある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図った。(受理件数 環境課 7件 建築指導課42件)	3	4	7	◎	継続	アスベスト飛散の可能性のある建物解体工事や大規模【1,000㎡以上】建物の解体工事の際に、事前に解体方法についての届出を受け、アスベストの飛散防止等を図る。	7	◎	
周りの環境に配慮した活動を目指す	騒音・振動による被害の防止に努める	特定建設作業実施届・特定施設設置届出書の受理及び苦情対応	環境課	特定建設作業実施届出書(受理件数273件 苦情対応件数13件) 特定施設設置届出書(受理件数6件 苦情対応件数2件)	特定建設作業実施届出書(受理件数250件 苦情対応件数17件) 特定施設設置届出書(受理件数5件 苦情対応件数3件)	3	4	7	◎	継続	引き続き継続して業務を実施する。	7	◎	
	悪臭や騒音により周辺に迷惑をかけるようにしない	生活騒音等の相談	環境課	生活騒音に係る相談(4件)	生活騒音に係る相談(3件)	3	4	7	◎	継続	引き続き継続して業務を実施する。	7	◎	

①事業・取組の難易度
1.5 実施難易度が高い
1.2 実施難易度はやや高い
1 実施難易度はふつう
0.8 実施難易度はやや低い
0.5 実施難易度が低い

②事業の進捗度
5 目標値・方向性に対して十分に効果があった
4 目標値・方向性に対してやや効果があった
3 目標値・方向性に対して現状維持となった
2 目標値・方向性に対してあまり効果がなかった
1 目標値・方向性に対して効果がなかった

評価の基準
◎ 4以上
○ 2以上4未満
▲ 2未満

III 事業・取組の詳細 (R1年度実績)

施策の方向	施策(取組)	Plan		Do		Check				Action		目標値・方向性 (R6)	①-1 担当課の評価	
		事業・取組名	担当課	29年度実績	30年度実績 (取組や補助の内容・成果)	①事業・取組の難易度	②事業の進捗度	合計点 (①×②)	評価	事業の継続有無	R1年度の予定		施策ごとの平均値	施策ごとの評価
芦屋らしい景観を守り育てる	「やま・まち・海」の3つのゾーンで統一感のあるまちなみを形成する	①まちの景観形成推進事業	都市計画課	①芦屋景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:385件)	①芦屋景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:425件)	1	5	5	◎	継続	例年通り業務を遂行する	5	◎	
		②緑の保全地区の届出の受理及び助言・指導		②緑の保全地区の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:37件)	②緑の保全地区の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:22件)									
	③地区計画の区域内における届出に対する助言・指導		③地区計画の区域内における行為の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:157件)	③地区計画の区域内における行為の届出に対し、助言や指導を行った。(届出件数:206件)										
	特徴のある景観を守る	芦屋川周辺の特別景観地区における指導	都市計画課	芦屋川特別景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:6件)	芦屋川特別景観地区内における建築物の認定を行った。(認定件数:11件)	1	5	5	◎	継続	例年通り業務を遂行する	5	◎	
景観資源を守ることに努める	保護樹の指定	芦屋川沿道等の無電柱化	道路・公園課	電線管理者と事業実施に向けた協議を継続して行った。	電線管理者と事業実施に向けた協議を継続して行った。	1	5	5	◎	継続	変更となった事業範囲について、低コスト手法を導入した詳細設計を実施する。	5	◎	
		保護樹を15本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	都市計画課	保護樹を15本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	保護樹を15本指定(累計、当該年度は新たな指定は無い)、伐採等を行う際は、届出を行うことにより、保護を行っている。	1	5	5	◎	継続	例年通り業務を遂行する	5	◎	
みどりに囲まれた頼いの場をさらに充実させる	公共空間における緑の質の向上を図る	街路等緑化推進事業	街路樹課	陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町外で地被類の植え替えを実施した。	西浜公園や芦屋川沿いで植栽を行った。	1	5	5	◎	継続	陽光緑地や総合公園にて枯損木の植え替えや、高浜町外で地被類の植え替えを実施予定。	5	◎	
		花壇植栽管理事業	街路樹課	公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施した。(自治会:11,794㎡ 指定管理者:406㎡)	公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施した。(自治会:7,591.18㎡, 1277.87㎡ 指定管理者:406㎡)	1	5	5	◎	継続	公園等の花壇管理について自治会への活動助成や総合公園指定管理者に委託を実施予定。	5	◎	
民有地の緑化に努める	芦屋市緑化事業	公共施設等花苗配布事業	街路樹課	出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。(団体数:56団体)	出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。(団体数:53団体)	1	5	5	◎	継続	出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供予定。	5	◎	
		市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:12件 助成額:1,177千円)	街路樹課	市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:12件 助成額:1,177千円)	市民が生垣・壁面等の緑化を行う際に助成を実施した。(件数:16件 助成額:1,530千円)	1	5	5	◎	一部変更して継続	年々、件数が減少傾向にあるため、助成の対象の見直し等を行う予定。	5	◎	
家庭における身近な緑化に努める	オープンガーデン	県民まちなみ緑化事業	街路樹課	県の申請窓口として、苗木の購入費等の補助を実施した。(件数:1件 補助額:1,180千円)	県の申請窓口として、苗木の購入費等の補助を実施した。(件数:1件 補助額:345千円)	1	5	5	◎	一部変更して継続	年々、件数が減少傾向にあるため、助成の対象の見直し等を行う予定。	5	◎	
		オープンガーデンを10日間開催し、133の個人・団体が参加した。	街路樹課	オープンガーデンを10日間開催し、133の個人・団体が参加した。	オープンガーデンを10日間開催し、140の個人・団体が参加した。	1	5	5	◎	継続	オープンガーデンを開催し、より参加者と理解者を増やすために説明会を実施予定。	5	◎	
きれいなまちなみを保つ	自主的な清掃活動・美化活動を行う	緑化講座、相談	街路樹課	総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施。	総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施。	1	5	5	◎	継続	総合公園にて、定例講習会や無料の相談会を実施予定。	5	◎	
		芦屋わがまちクリーン大作戦により芦屋川河川敷等の清掃	環境課	6月 参加者519人 回収ゴミ280kg 9月 参加者322人 回収ゴミ330kg	・春の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:平成30年5月26日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパークを中心) ごみ収集量:可燃ごみ374kg 不燃ごみ26kg 合計400kg 参加者:476人 ・秋の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:令和元年9月28日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパークを中心) ※海洋プラスチック問題対策として、陽光緑地・キャナルパークのごみ集積所を増設予定	1	5	5	◎	継続	・春の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:令和元年5月25日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパークを中心) ごみ収集量:可燃ごみ374kg 不燃ごみ26kg 合計400kg 参加者:476人 ・秋の芦屋わがまちクリーン作戦 日時:令和元年9月28日(土) 清掃場所:市内全域(阪急芦屋川駅を除く市内3駅、陽光緑地・キャナルパークを中心) ※海洋プラスチック問題対策として、陽光緑地・キャナルパークのごみ集積所を増設予定	参加者数の増加	5	◎
まちの美観の維持・向上に努める	市民マナー条例による、ポイ捨て禁止などの美化推進施策の実施	ボランティア清掃ごみの収集	収集事業課			1	5	5	◎	継続	ボランティア清掃ごみの受付・収集について、引き続き道路課、公園緑地課と連携、調整しながら行い、今後の取り組みについて、組織改正を踏まえ道路・公園課、街路樹課と協議を行う。	現状維持	5	◎
		市民マナー条例による、ポイ捨て禁止などの美化推進施策の実施	環境課	芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回、啓発キャンペーン14回、啓発用看板の貸与・新規設置、自治会掲示板用啓発表示配布、警備委託(花火146日 プレジャーポート41日)。阪急バス車内アナウンス4停留所1日566回×365日。囃子職員による巡回指導 過料処分231件。神戸芸術工科大学との官学協働の取り組み(啓発まんの作製、うちわイラスト・ビクトグラム・市民マナー条例推進計画表紙等のデザイン)。阪神6市での阪神地域喫煙マナー向上担当者連絡会1回及び大阪駅前での合同啓発キャンペーン実施1回。地域活動団体への啓発講座の実施2回。公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。犬のお散歩マナー啓発まんがを公立小学校全児童に配布。	芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回、啓発キャンペーン10回、啓発用看板の貸与・新規設置、自治会掲示板用啓発表示配布、警備委託(花火145日 プレジャーポート25日)。阪急バス車内アナウンス4停留所1日566回×365日。囃子職員による巡回指導 過料処分171件。神戸芸術工科大学との官学協働の取り組み(うちわイラスト・イラストレーション教室)。阪神6市での阪神地域喫煙マナー向上担当者連絡会1回。公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。犬のお散歩マナー向上モデルロードお披露目式開催。新聞・雑誌への条例等の掲載5回。環境ポスター展に市民マナー条例賞を創設。第2次芦屋市市民マナー条例推進計画の策定。	1	5	5	◎	継続	・第2次芦屋市市民マナー条例推進計画に沿って、PDCAサイクルを重視した進捗管理を行う。「活動指標(目標値)」の設定を行い、進捗管理・達成状況の取りまとめを実施。また、「成果指標(苦情件数等)」に基づく評価を行い、翌年度の取組内容に反映させる。 ・活動指標が確定しているもの ア)芦屋市市民マナー条例推進連絡会3回 イ)警備委託(花火147日プレジャーポート18日) ウ)公用車に啓発用デザインのマグネットシートを貼付(4種類を四季毎に貼りかえ)。 エ)啓発キャンペーン11回。	これまで通り実施する	5	◎
自転車を駐輪対策事業(駐輪場の維持管理)	自転車等駐輪対策事業(駐輪場の維持管理)	自転車等駐輪対策事業(駐輪場の維持管理)	建設総務課	駐輪場の適正な維持・管理を実施した。(箇所数:15箇所)	駐輪場の適正な維持・管理を実施した。(箇所数:15箇所)	1	5	5	◎	継続	駐輪場の適正な維持・管理を実施する。(箇所数:14箇所(予定))	5	◎	
		自転車等駐輪対策事業(放置自転車の移送・保管)	道路・公園課	放置自転車1047台、原付78台の移送を行った。(72回)	放置自転車1018台、原付66台の移送を行った。(72回)	1	5	5	◎	継続	引き続き、放置自転車の移送・保管を行う。	5	◎	

1.5	実施難易度が高い
1.2	実施難易度はやや高い
1	実施難易度はふつう
0.8	実施難易度はやや低い
0.5	実施難易度が低い

5	目標値・方向性に対して十分に効果があった
4	目標値・方向性に対してやや効果があった
3	目標値・方向性に対して現状維持となった
2	目標値・方向性に対してあまり効果がなかった
1	目標値・方向性に対して効果がなかった

◎	4以上
○	2以上4未満
▲	2未満

III 事業・取組の詳細（R1年度実績）

施策の方向	施策(取組)	Plan		Do		Check				Action		目標値・方向性(R6)	①-1 担当課の評価	
		事業・取組名	担当課	29年度実績	30年度実績 (取組や補助の内容・成果)	①事業・取組の難易度	②事業の進捗度	合計点 (①×②)	評価	事業の継続有無	R1年度の予定		実施ごとの平均値	施策ごとの評価
地球規模の環境問題やエネルギーのことを知る	エネルギー使用量を把握し、削減に努める	地球温暖化防止対策として第4次芦屋市環境保全率先実行計画を策定し、温室効果ガス削減を目標にエネルギー使用量削減に取り組む	環境課	①温室効果ガス排出量 6.1%減(目標:基準年度(H26)比で5%減) 芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針の策定 ②エネルギー使用量[GJ] 2.6%減(目標:H26比で5%減)	①温室効果ガス排出量 14.1%減(目標:基準年度(H26)比で5%減) 芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針の策定 ②エネルギー使用量[GJ] 4.9%減(目標:H26比で5%減)	1	5	5	◎	継続	庁内で研修を実施したり、エネルギー、電力の使用量を掲示板等で周知し、情報の共有を図っていく。	エネルギー使用量の削減	5	◎
	節電・省エネ行動について、地球温暖化問題に関心を持つ	地球温暖化や節電・省エネに関心をもち、啓発事業を実施する	環境課	地球温暖化防止活動推進員と協同であしや秋まつりに出店し、パネル啓発及び環境クイズを実施(参加者256名)。	台風により秋まつりが中止となったため、実施せず。	1	5	5	◎	継続	あまつり、福祉フェア、LED工作教室の実施等、新たなイベントを開催し、啓発を実施した。	現状維持	5	◎
	ドライミストの実施	水道管理課 水道工務課			芦屋市役所北館前広場西側通路において、ドライミストを実施した。	1	5	5	◎	継続	引き続き、実施していく。		5	◎
	小中学校での節電・省エネの取組に進んで参加し、環境問題に興味を持つ	授業や日々の学校生活の中で節電・省エネについて学ぶ機会を提供し、子どもたちの環境問題への意識を高める。	学校教育課			1	5	5	◎	継続			5	◎
次の世代のためにエネルギーを有効につかう	公共施設などへの省エネルギー機器の導入及び再生可能エネルギーの利用を進める	公共施設での導入	建築課	公共施設改修の照明設計の際に、照明更新であれば基本的にLED化を図っている。上宮川町住宅6号棟や浜風集会所などの共用部における全面LED照明化を行った。	公共施設の照明改修の際に、LED化を図っている。茶屋集会所及び各市営住宅の共用部の改修工事においてLED化を実施した。	1	5	5	◎	継続	こども園の新築工事(2件)において、省エネルギーに配慮した照明器具、空調機器の採用を計画する。来年度以降の工事監理の中でも、計画した機器の設置を確認する。		5	◎
	学校園での導入	管理課	浜風小学校特別教室棟・体育館棟大規模改修における、省エネ型の照明・衛生設備機器導入	山手中学校改築工事において、省エネ型の照明・衛生設備機器を導入した。	1	5	5	◎	継続	精道中学校建替工事における、省エネ型の照明・衛生設備機器の導入		5	◎	
	街路灯のLED化	道路・公園課	水銀灯100wを22灯、200w以上を182灯、メタルハライド灯を17灯、蛍光灯を158灯、蛍光灯コンパクト型を87灯、ナトリウムを741灯のLED化を実施。新設LEDを18灯設置。(計565灯)LED化率(38.2%)	水銀灯100wを3灯、200w以上を276灯、メタルハライド灯を16灯、蛍光灯を298灯、蛍光灯コンパクト型を152灯、ナトリウムを95灯のLED化を実施。新設LEDを112灯設置。(計952灯)LED化率(49.7%)	1	5	5	◎	継続	水銀灯200w以上を334灯、蛍光灯を200灯、蛍光灯コンパクト型を130灯、ナトリウムを162灯のLED化を実施。新設LEDを29灯設置。(計855灯)LED化率(60.3%)		5	◎	
家庭及び事業所における省エネルギー機器の導入及び再生可能エネルギーの利用を進める	新エネ・省エネ機器の導入補助	環境課	市内の住宅にエネファームを設置した個人に導入費用の一部補助を実施した。【一律4万円】(合計78件)	市内の住宅にエネファームを設置した個人に導入費用の一部補助を実施した。【一律4万円】(合計69件)	1	5	5	◎	継続	引き続き省エネ機器の導入を促進していく。	現状維持	5	◎	
	低炭素建築物の認定申請に対する審査・指導	建築指導課	都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施した。(申請数:5件)	都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施した。(申請数:4件)	1	5	5	◎	継続	都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素化された建築物の認定申請に対して、審査等を実施する。		5	◎	
家庭でできる節電やエコドライブなど、身近な取組の実践に努める	打ち水など身近な取組を実践する。	環境課	①地球温暖化防止活動推進員と協同で打ち水を実施(計2箇所) ②市内の保育所にゴーヤの苗を配布 ③エコ・クッキングを市民センターで実施(参加者10名)。	①地球温暖化防止活動推進員と協同で打ち水を実施(計2箇所) ②市内の保育所にゴーヤの苗を配布 ③エコ・クッキングを大阪ガスのハグ・ミュージアムで実施(参加者8名)。	1	5	5	◎	継続	引き続きイベントを実施していく。	現状維持	5	◎	

①事業・取組の難易度
1.5 実施難易度が高い
1.2 実施難易度はやや高い
1 実施難易度はふつう
0.8 実施難易度はやや低い
0.5 実施難易度が低い

②事業の進捗度
5 目標値・方向性に対して十分に効果があった
4 目標値・方向性に対してやや効果があった
3 目標値・方向性に対して現状維持となった
2 目標値・方向性に対してあまり効果がなかった
1 目標値・方向性に対して効果がなかった

評価の基準
◎ 4以上
○ 2以上4未満
▲ 2未満

基本目標⑤ 循環型社会を創る

総合評価※		A		[主な事業の実績紹介] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○…
I 施策の評価				
①-1 担当課の評価		◎		
①-2 幹事会の評価		○		
①-3 審議会の評価		◎		
II 先進性の評価				
②-1 新たな取組の評価		◎		
②-2 先進的な取組の評価		-		
[審議会の主な意見]				
• ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○…				
• ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○…				

＜総合評価＞
 A：I、IIの評価において、◎が3個以上 B：◎が2個 C：◎が1個 D：◎が0個

指標と目指す目標・方向性 (各「施策の方向」について目安となる指標をたてます)

指 標	目指す目標・方向性
市民1人当たりの1日のごみ排出量	減少
グリーン購入についての啓発事業の実施	グリーン購入実施の増加
透水性舗装の実施や雨水貯留施設の設置への補助	舗装面積の増加や設置者の増加

I 施策の評価

施策の方向	施策（取組）	①-1 担当課の評価	①-2 幹事会の評価	①-3 審議会の評価
ごみを減らし、資源を繰り返し利用する	マイバッグの持参やごみ出しルールの徹底などにより、ごみの減量に努めます	◎	-	-
	リユースフェスタなどのイベントへの参加や「スリム・リサイクル宣言の店」の充実により、3R活動に取り組みます	◎	-	-
	ごみの処理に伴う環境負荷の低減を図るため、施設・設備の適正な維持管理と保守点検を行います	◎	-	-
環境にやさしい製品を選ぶ	グリーン購入の対象製品や環境保全上のメリットについて学びます	◎	-	-
	一人ひとりの取組に加えて、本市や事業者は率先してグリーン購入対象製品を利用します	◎	-	-
水資源の有効な活用を考える	資源循環における水循環の確保に配慮した取組の重要性についての啓発を進めます	◎	-	-
	歩道への透水性舗装や雨水浸透柵、雨水貯留施設などの導入により、雨水の有効利用を進めます	◎	-	-
評価		◎◎ (7/7 = 割)	○	◎

＜担当課の評価＞ ※施策（取組）ごとの評価値については次頁参照
 ◎：◎の割合（[◎の総数]/[施策数]）が7割以上 ○：◎の割合が4割以上、7割未満 ▲：◎の割合が4割未満
 ＜幹事会の評価＞＜審議会の評価＞
 ◎：施策は進んでいる ○：やや進んでいる・現状を維持できている ▲：後退している

II 先進性の評価

③-1 新たな取組の評価	◎	[意見] (具体的な取組内容や今後の取組意欲など) ○○○○…
③-2 先進的な取組の評価	-	[意見] (具体的な取組内容や今後の取組意欲など) ○○○○…

＜新たな取組の評価＞＜先進的な取組の評価＞
 ◎：新たな取組、先進的な取組がある

III 事業・取組の詳細（R1年度実績）

施策の方向	施策(取組)	Plan		Do		Check			Action		目標値・方向性 (R6)	①-1 担当課の評価	
		事業・取組名	担当課	29年度実績	30年度実績 (取組や補助の内容・成果)	①事業・取組の難易度	②事業の進捗度	合計点 (①×②)	評価	事業の継続有無		R1年度の予定	施策ごとの平均値
ごみを減らし、資源を繰り返し利用する	マイバックスの持参やごみ出しルールの徹底などにより、ごみの減量に努める	①ハンドブック、広報、HP、SNS等での周知・啓発 ②小中学生への環境啓発 ③マイバックス等を利用したレジ袋の削減 ④フードドライブによる食品ロスの削減	環境施設課	①6月4日、11月3日にフリーマーケットとマイバックスキャンペーンを同時開催。5月26～27日、10月6～7日にリユースフェスタを開催。2月16～17日にリユースフェスタとマイバックスキャンペーンを同時開催した。 ②ごみ収集カレンダー、家庭ごみハンドブック(H29.10作成)、事業系ごみハンドブック(H29.12作成)の各戸配布、市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布 ③小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバックス持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:345点) ④市内における審議会等における飲料の提供方法の変更 近年、不適正な処理のため世界全体で年間数百万トンを超える陸上から海洋へのプラスチックごみの流出があると推計され、地球規模での海洋汚染が懸念されるなか、昨今問題となっている海洋プラスチック問題への対応をすべく、海洋プラスチックごみによる汚染の防止を、実効的に進めるため、本市におけるプラスチックごみの削減推進の一環、行政の率先した取組として、昨年度、市内の審議会等で飲料を提供する会議における飲料提供方法を市内調査を実施し、対策案を検討のうえ、市内調整を進めた。	①5月27日、11月3日にフリーマーケットとマイバックスキャンペーンを同時開催。6月1～2日にリユースフェスタとマイバックスキャンペーンを同時開催。11月16～17日にリユースフェスタとフードドライブを同時開催。3月15～16日にリユースフェスタとマイバックスキャンペーンとフードドライブを同時開催した。 ②小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバックス持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:345点) ③市内における審議会等における飲料の提供方法の変更 近年、不適正な処理のため世界全体で年間数百万トンを超える陸上から海洋へのプラスチックごみの流出があると推計され、地球規模での海洋汚染が懸念されるなか、昨今問題となっている海洋プラスチック問題への対応をすべく、海洋プラスチックごみによる汚染の防止を、実効的に進めるため、本市におけるプラスチックごみの削減推進の一環、行政の率先した取組として、昨年度、市内の審議会等で飲料を提供する会議における飲料提供方法を市内調査を実施し、対策案を検討のうえ、市内調整を進めた。	1	5	5	◎	継続	①家庭ごみハンドブック(H29.10作成)を改訂(H31)し、各戸配布、市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布を行い、より一層の啓発に努める。 ②昨年度から市内における審議会等における飲料の提供方法の変更を実施するため、具体的検証を進め、今年度より市内の審議会等で飲料を提供する会議における飲料提供についてペットボトル飲料での提供を原則禁止し、本庁舎等の給湯室にポットや湯飲み等を設置する対応を行い、使い捨てプラスチックの使用の削減に努める取組を実施する(5月頃に実施予定)。	5	◎
	収集運搬作業に伴うごみ出しルールの徹底	収集事業課			1	5	5	◎	継続	①年末ごみ収集日拡充対応の継続実施により市民の利便性向上を図ると共に、その機会に併せ、広報チャンネル「あしやライオン」やHP、広報紙等を活用した年末のごみ出しルールの啓発を引き続き推進する。通常時は、毎年発行し戸別配布を行っている「家庭ごみ収集カレンダー」やHP等において、ごみ搬出日やルールについての周知を行い、作業現場においては違う曜日に出されたごみに対して、「ごみ出しルール啓発シール」を貼り付けすることで、ごみ出しルールに対する市民意識の向上に努める。 また、ごみ収集車の側面に、市内の小・中学生より応募があったごみ問題についてのポスターを掲示することで、小・中学生の観点から広くごみ問題について市民に啓発を促す。			
リユースフェスタなどのイベントへの参加や「スリム・リサイクル宣言の店」の充実により、3R活動に取り組む	①リユースフェスタの開催 ②再生資源集団回収制度による再生資源の分別 ③スリム・リサイクル宣言の店	環境施設課	①JRR戸屋駅前ペDESTリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:6月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:176団体 回収量:3,582t 報奨金:14,327千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:232点 来場者数:1,596人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:75店)	①JRR戸屋駅前ペDESTリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:5月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:178団体 回収量:3,481t 報奨金:13,926千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:242点 来場者数:1,628人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:72店)	1	5	5	◎	継続	①再生資源集団回収報奨金は、より取組しやすい制度にするため、申請方法を検討する。	5	◎	
	建築リサイクル届に対する審査・指導	建築指導課	解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施した。受理件数178件、通知44件	解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施した。受理件数153件、通知39件	1	5	5	◎	継続	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施する。			
	①家庭用品交換会及び修理会 ②リサイクル教室	地域経済振興課	環境施設課のリユースフェスタに参加(計4日、参加人数993名)。リユース、リサイクルに関するクイズの配布や、食品保存袋を配布するなど、幅広い世代に対し、啓発を行った。	環境施設課のリユースフェスタに参加(計4日、参加人数725名)。リユース、リサイクルに関するクイズの配布や、食品保存袋を配布するなど、幅広い世代に対し、啓発を行った。	1	5	5	◎	継続	①引き続き環境施設課と合同でクイズやリサイクル教室を行い、市民のニーズに合わせた啓発事業を進めていく。			
環境にやさしい製品を選ぶ	グリーン購入や環境保全上のメリットについて学ぶ	グリーン購入に係る啓発	環境課	グリーン購入について知ることができるよう、グリーン購入に関するHPを作成した。	グリーン購入について知ることができるよう、グリーン購入に関するHPを作成した。	1	5	5	◎	継続	グリーン購入の研修を実施し、グリーン購入法適合商品の購入を依頼した。	5	◎
	グリーン購入対象商品の利用を推進する	市の購入物品を可能な限りグリーン購入にする	環境課	率先実行計画の取組の一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	率先実行計画の取組の一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	1	5	5	◎	継続	グリーン購入の研修を実施し、グリーン購入法適合商品の購入を依頼した。	5	◎
水資源の有効な活用を考える	水循環の確保に配慮した取組の重要性の啓発を進める	水資源についての啓発	環境課	水資源の保全を含め、省資源について知ることができるよう、省資源に関するHPを作成した。	水資源の保全を含め、省資源について知ることができるよう、省資源に関するHPを作成した。	1	5	5	◎	継続	引き続き啓発を実施していく。	現状維持	
	水道水源の保全活動	水道管理課 水道工務課	水道週間(6月1日～7日)の一環として、本市の自己水源である戸屋川の水質を守るため、取水口より上流の清掃を実施。	水道週間(6月1日～7日)の一環として、本市の自己水源である戸屋川の水質を守るため、取水口より上流の清掃を実施。	1	5	5	◎	継続	引き続き、実施していく。	5	◎	
	透水性舗装、雨水浸透樹、雨水貯留施設などの導入により、雨水の有効利用を進める	①透水性舗装の拡充 ②浸透樹・透水管の設置 ③雨水貯留施設の設置者への補助	道路・公園課 下水道課	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:641㎡) ①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透樹の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成29年度補助件数8件	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:420㎡) ①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透樹の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成29年度補助件数5件	1	5	5	◎	継続	①透水性舗装の拡充 ②浸透樹・透水管の設置 ③雨水貯留施設の設置者への補助	5	◎

1.5	実施難易度が高い
1.2	実施難易度はやや高い
1	実施難易度はふつう
0.8	実施難易度はやや低い
0.5	実施難易度が低い

5	目標値・方向性に対して十分に効果があった
4	目標値・方向性に対してやや効果があった
3	目標値・方向性に対して現状維持となった
2	目標値・方向性に対してあまり効果がなかった
1	目標値・方向性に対して効果がなかった

◎	4以上
○	2以上4未満
▲	2未満